

# 教化センターだより

## No. 402

発行日 2020年12月1日  
発行 真宗大谷派大阪教区  
教化センター  
TEL 06-6251-0745  
FAX 06-4708-3278

### ◆ 御堂文庫 蔵書の紹介 ◆



〈発行〉法蔵館

## 『なぜ人はカルトに惹かれるのか』

——脱会支援の現場から』

瓜生 崇 [著]

自らも某新興宗教団体への入信脱会を経験した著者が、アレフ（オウム真理教）脱会支援を通して気づいた、正しさ依存症としてのカルト。

脱会とは、迷いながら生きていく勇気を持つことである。

（本帯文より引用）



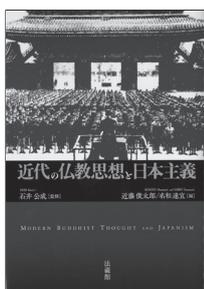
〈発行〉本願寺出版

## 『君自身に還れ 知と信を巡る対話』

大峯 顯 / 池田 晶子 [著]

人間であるならば誰でも、この不思議と謎の真只中に生きている筈なのに、それが謎として感じられないのが、現世至上主義になってしまった今日の時代の不幸である。池田氏の書くものには、まちがいなくこの謎に襲われている人だという実感がある。

（まえがきより抜粋）



〈発行〉法蔵館

## 『近代の仏教思想と日本主義』

石井 公成 [監修] 近藤 俊太郎 / 名和 達宣 [編]

「日本主義」を媒介したことで、仏教思想はどのような表現が（不）可能となったのか。また仏教者・知識人たちは、「日本主義」に染められていく時代といかに対峙し、いかに仏教を再編していったのか。支配的イデオロギーに再解釈を加えていくさまや、仏教思想の領野を確保すべく取り組んだ苦闘の軌跡を尋ね、「戦争責任論」とは異なる視座から、「仏教思想と日本主義」という古くて新しい問いへと迫る。

（本帯文より抜粋）

— 教化リーフレットの —

「活用」について —

4枚の「教化リーフレット」は、各寺院・教会において「寺報」や個別に複写しての配布、同朋会や聞法会での教材としての活用いただければ幸いです。

— 1月のリーフレット —

リーフレット①

「掲示板のごとは」……加藤 斉

「もろもろの

煩惱悪障を転じて

無生忍を

さとしめたまうなり』

リーフレット②

「今月のことば」……三好泰紹

『必至無量光明土

諸有衆生皆普化』

リーフレット③

「もしもし相談」……新田修巳

『お寺でも地鎮祭を

つとめるのか』

リーフレット④

「仏典マンガ・仏さまのおしえ」

『帝釈天と王様』

（敬称略）

もろもろの

煩悩悪性を

転じて

意生忍を

さとらしめ

たまうなり

『歎異抄』

これは『歎異抄』第

十四章のお言葉です。

「無生忍」とは「不生不

滅の真理をさとの」こ

とですが、親鸞聖人は

「不退の位（仏になるべ

き身と定まること）」と

も了解されています。こ

こで大切なのは「転ずる」

という言葉です。つまり、

煩悩を消し去ってさとの

を得るのではなく、煩悩

がさとりへと転ずるとい

うのです。

静かにこれを

悲しむところより

眞実の力は生る

これは、眞宗大谷派に

おいて部落差別をはじめ

とする社会の問題に取り

組み続けた僧侶、武内

了温氏の言葉です。私

は、この「静かにこれを

悲しむところ」こそ、煩

る機縁となるのではない

かと思うのです。

私たちは、常に自己中

心的にしか物事を考えら

れず、それによって時に

は他者を傷つけ、また時

には自分を傷つけながら

生きています。仏の教え

に照らされることによっ

て、このような私のあり

方に深い悲しみを感じた

とき、はじめて他者の悲

しみにも目が開き、その

悲しみを通じて他者と共

感しあうことができるの

でしょう。

そして、この悲しみが

阿弥陀仏の衆生に対する

深い悲しみ（大悲）と呼

応し、それによって私た

ちの信心が呼び覚まされ、

悲しみの現実を歩む

「眞実の力」となるので

はないでしょうか。

（加藤 齊）

必至無量光明土  
諸有衆生皆普化

必ず無量光明土に至れば、諸有の衆生、みなあまねく化すといえり。

ここでは前二句「感染凡夫信心発／証知生死即涅槃」と一緒にみてい

きたいと思います。

親鸞聖人は「感染の凡夫、信心発すれば、生死即涅槃と証知せしむ。必ず無量光明土に至れば、諸有の衆生、みなあまねく化す。」と曇鸞大師が明らかにしてくださったといたただかれ、『正信偈』の中の曇鸞章を結ばれておられます。

考えてみれば、自身の事を感染の凡夫という意

識ではなかなかとらえられないものです。「自分の思いは間違いない」と、どこまでも固執し、みずからの「正義」という名のもとに他者を攻撃することも多々あります。

す。

今現在もコロナウィルス感染の不安と恐怖の中で、ニュース報道等で「自粛警察」・「マスク警察」という言葉で表されている現状がまさしくそうでしよう。自粛をしない飲食店に張り紙をして攻撃をする。首都圏からの帰省者に対して嫌がらせをするといった報道がさ

れているのを見て、「あいつは嫌い／これは駄目だ／

あいつは困る／こいつはいいと切り続ける／

私はどうもハサミのようだ」(平野修)

という言葉を出しました。他者との関係に於いて、事あるごとに自身の闇が浮き彫りにされ、気付かされることです。

無量光明土とは、四十八願の第十二願に「光明無量の願」が建てられ、「世界中どこにでも光明が届き、全ての人々を照らし浄土に往生できなければ私は仏に成りません。」という誓願が成就して成り立つ阿彌陀の浄土のことです。

親鸞聖人は『唯信鈔文意』に「阿彌陀仏は光明なり 光明は智慧の力なり」と示されています。

ます。阿彌陀仏は形も色もないので人間の眼で見ることができません。しかし、光が闇を照らすように、われわれのおろかさ明らかにする仏の智慧のはたらきとしてあり、我々に届いているということでしょう。

この『正信偈』の文を読誦する時に改めて、私が光明土に至るのではなく、光明が私に至りはたらいてくださり、自身の愚かさに気付かされ続け、歩んでいける道があるのだと力強く思わされることです。

(三好泰紹)

今月のことば出典 『正信偈』

『真宗聖典』

206頁

『真宗大谷派 勤行集』(赤本)

## もしもし相談



お寺でも地鎮祭をしてくれるの？

## 問

両親の面倒を身近な環境で見たいと思  
い、土地を購入し二

世帯住宅を建てることにしま  
した。周囲からはきちんと地  
鎮祭を行うように言われまし  
た。家の宗旨は浄土真宗です。  
地鎮祭といえば神社だと思っ  
のですが、お寺でもそのよう  
なお祓いをしていただけなの  
でしょうか。

(51歳・男性)

## 答

ご相談の件で  
すが、地鎮祭を  
行うことに大変  
戸惑っておられるようで  
すね。

浄土真宗の場合、地鎮

祭ではなく、起工式を行  
います。起工式とは、新  
たに工事を始めるという  
意味ですが、それは決し  
て地鎮祭のような崇りを  
恐れて神仏を祀る法要で  
はありません。

私たち一人一人のいのち  
の背後には、無数のいの  
ちの支えがあります。ど  
んなに頑張っても多くの  
人々の支えがなければ家  
を建てることは出来ませ  
ん。このいのちの恩徳を  
心に深く刻み忘れないよ  
うにしようとの思いのこ  
もった起工式です。

それから私たちの家は、  
ただ単なる生活の場では  
なく、教法を聞思してい  
く大事な場です。教法を  
聞思することによって、  
たった一つの分子にも尊い

いのちが宿っていること  
に目覚めると同時に、い  
のちに背くことの罪の重  
さを身にしみて深く痛感  
させられます。

それ故、どんなに辛く  
悲しい出来事に遭遇した  
としても、決していのち  
の尊厳を見失うことにな  
い人間になって行くこと  
が出来るのです。また、  
そういう人間になりたい  
という決意を新たにする  
儀式が真宗の法要です。

「念仏者は、無碍の一道  
なり」「『歎異抄』とい  
う言葉は、真宗の流れを  
汲む人々によって今日に  
いたるまで大切に伝承さ  
れてきました。無碍とは、  
さわりが無いという意味  
ですが、それは除災招福  
を祈願することではあり

ません。たとえどんなに  
波瀾万丈の人生であった  
としても、その場を真摯  
に生き抜くことの出来る  
歩みを、無碍の一道とい  
力強い言葉で表明されて  
いるのです。

今回、地鎮祭のことで  
悩まれたことは、あなた  
にとつて大変意味深い出  
来事だったと思います。  
何度も戸惑ったり躊躇し  
たり、手探りの状態の中  
からこそ心の底から納得  
できる結論が出てくるの  
ではないでしょうか。

その上であなたの気持  
ちの整理がつきしだい、  
今回の新しい家を建立さ  
れる際の法要を、お寺に  
お願いされたらよいと思  
います。

(新田 修三)



# 仏典マンガ・仏さまのおしえ



絵：小川ゆきえ〈186〉

## 帝釈天と王様



参考・『ジャータカ物語』

『ジャータカ』は、仏陀の過去生の物語集。パーリ語聖典では、22編547話からなっています。多くの經典の中に引用されて、經典の広がりとともに、世界各地に伝えられました。(ジャータカ 31)